

成田市学校教育振興基本計画策定委員会 会 議 概 要

1 開催日時

平成28年2月12日(金) 午後1時30分～午後2時32分

2 開催場所

成田市花崎町760番地
成田市役所6階 中会議室

3 出席者

(委員)

明石要一委員長、野村豊副委員長、太田洋委員、櫻崎弘美委員、渡邊直行委員、
渡邊邦明委員、渡邊信治委員、桑村雄一委員、渡邊昌美委員

(成田市)

教育委員会 関川教育長

教育総務部 伊藤部長、篠塚学校施設課長、江邨学務課長、大竹教育指導課長、
後藤学校給食センター所長

生涯学習部 秋山生涯学習課長、大矢生涯スポーツ課長

企画政策部 高橋企画政策課長

健康こども部 宮崎子育て支援課長、伊藤保育課長

事務局 (教育総務課)

鬼澤課長、鈴木課長補佐、窪田係長

4 議題

- (1) 成田市学校教育振興基本計画 (最終案) について
- (2) その他

5 議事(要旨)

関川教育長あいさつの後、議題(1)の成田市学校教育振興基本計画(最終案)について、事務局から配付資料に基づき説明があり、各委員から意見を伺った。

また、各議題における主な意見は、次のとおりであった。

成田市学校教育振興基本計画(素案)について

- ・ 児童生徒数の推移で小学生は増えているのに、中学生が微減しているのは何か理由があるのか。
⇒児童生徒数については、低学年の児童が増えているが、全体的にはほぼ横

ばいとなっている。

- 皆さんに広く知ってもらうためにも、表紙に短く言いやすい「サブテーマ」を載せた方が良いのではないか。
- コラム以外に、イラストを入れるのも良い。
- 大学の医学部ができるというのは大きなチャンスである。小・中・高を含めた一貫教育ができればさらに良いのではないか。
- 平成32年度に中間年度として目標値を定めているが、少し長いのではないか。3年目についても目標値を定めて評価した方が良いのではないか。
- コラムは全学校分が掲載されているわけではないのか。
⇒各学校で様々な取り組みを行っていると思うが、事業に合った特徴的な活動を抜粋して掲載をさせていただいた。
- この先10年、教職員の養成と管理職の育成をどうしていくのかは大きな問題である。
- 「食育の推進」と「体力づくりと学校体育の充実」に関連するのだが、朝早く練習等があると、朝ご飯をきちんと食べていても、昼食まで持たずに途中でお腹がすいてしまう子どもがいる。成田から何か新しい取り組みを発信できたら良いのではないか。
- 計画の周知については、今までと同じ方法では上手くいかないのではないか。学校をとりまく団体等にも上手に説明した方が良い。形だけで終わってしまっってはもったいない。
- 学校現場で先生方は非常に頑張っているのだが、次から次へと新しい施策が出て「次は何をしなければいけないのか」という思いもあるように見受けられる。だからと言って、必要な施策を打ち出さなくても良いということではなく、「成田市ではこのように先生方が頑張っている」という情報発信も必要ではないか。
- テストで高得点を取る子どもが、教科の好き嫌いを聞かれると「嫌い」と答えることが多いという状況がある。先生方は何とかしなければいけないという思いはあるのだが、日々の業務に追われていて、先が見えていない。そこで校長先生の手腕が必要となる。この基本計画の指針に基づいて、校長先生をはじめ管理職が具体的にどのように進めていくのか、きちんとイメージを持って説明していかなければいけないと考えている。
- この計画の対象は義務教育だが、高校や大学などの高等教育についても、計画策定の趣旨・背景等で一つでも入れてもらえると良いのではないか。
- 義務教育も大事だが、次の高等教育への接続も見据えておく必要がある。成田には成田国際高校もあり、国際医療福祉大学もできるので、「国際」とか「インターナショナル」というキーワードでつながる。サブテーマにはそのように一つにつながるキーワードを入れるのも良いのではないか。

- ・ 成田は地域と高校とのつながりもあると感じている。高等教育も含めて、地域全体での教育づくりを発信していけば良いのではないかと。
- ・ このような計画も、この策定委員会に参加するまで知らなかった。もっと市民に分かりやすい形でお知らせすると良いのではないかと。
- ・ 計画期間の10年は長いため、施策の一部でも良いので、どこかでアンケートを取るなどしてチェックをしていただきたい。
- ・ 基本計画の中で、幼小連携などの何か研究指定校のような試みを打ち出すことはできないか。

その他

特になし。

6 傍聴

1人